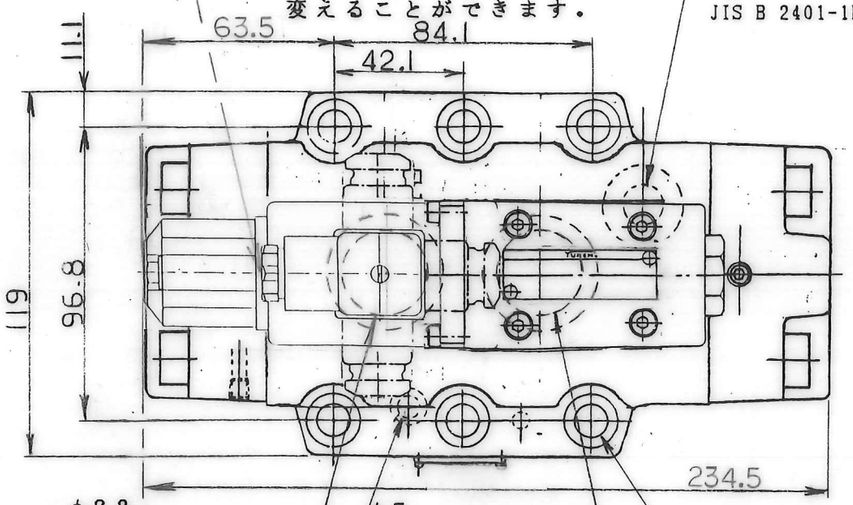
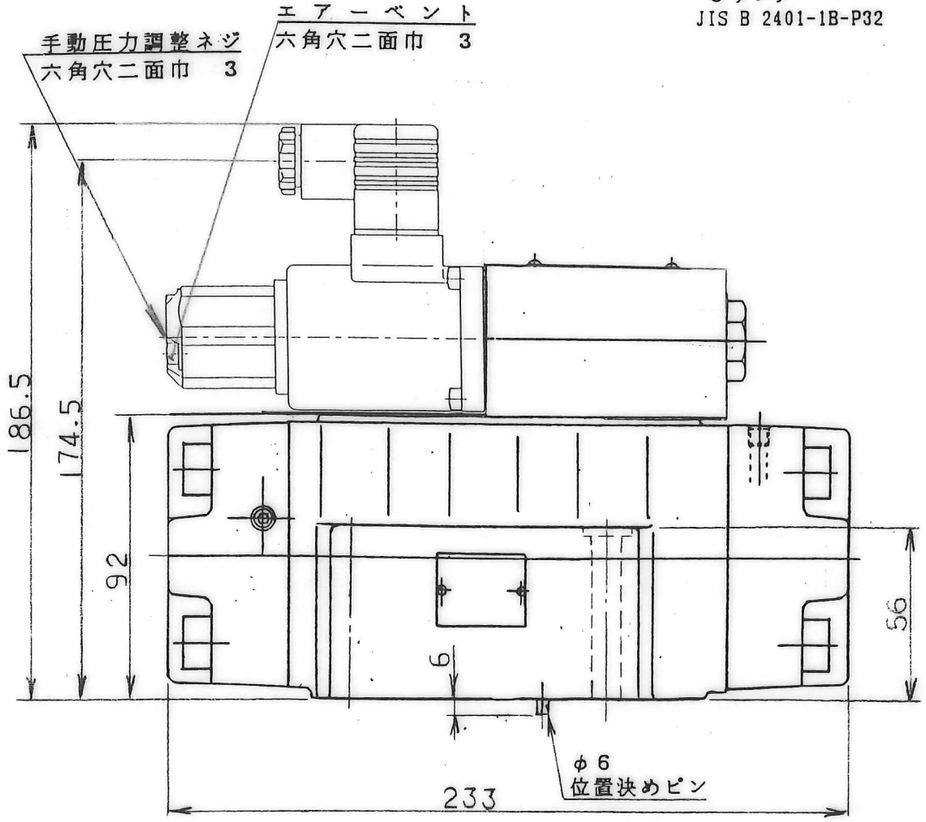



油F-付の場合、Oリングは、JIS B 2401-4D-P*(FPM, Hs90)となります。




仕　様

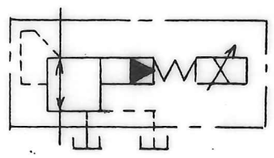
| | | |
|---|---|---|
| １次側最高圧力 | | △ 24.5 MPa |
| ２次側圧力調整範囲 | | |
| | ＥＲＢＧ－１０－Ｂ－５l | 0.9～6.9 MPa |
| | ＥＲＢＧ－１０－Ｃ－５l | 1.2～13.7 MPa |
| | ＥＲＢＧ－１０－Ｈ－５l | 1.5～20.6 MPa |
| 定格流量 | | 250ℓ/min |
| 最大リリーフ流量 | | 15ℓ/min (△p=13.7 MPa ニテ) |
| ヒステリシス | | ３ % |
| 周波数特性 | ( TyPICAL ) | ２Hz |
| 定格電流 | | |
| | ＥＲＢＧ－１０－Ｂ－５l | ０．８ A |
| | ＥＲＢＧ－１０－Ｃ－５l | ０．８ A |
| | ＥＲＢＧ－１０－Ｈ－５l | ０．９５A |
| コイル抵抗 | | １０Ω |
| 重量 | | １３．５Kg |

モデル番号の構成

F－ＥＲＢＧ－１０－※－５l

- 設計番号
- 調圧範囲（仕様欄参照）
- 呼称口径
- シリーズ記号
- リン酸エステル系作動油使用の場合のみ記入

油圧表示記号



付属品

六角穴付ボルト　Ｍ１０×７０ℓ---６本

■使用上の注意

1. 空気抜き
　安定した圧力制御を行うために、エアーベントを緩めて空気抜きを行い、ソレノイドケース内に油を充満させて下さい。
　なお、エアベントは、３カ所ありますので、最も空気が抜ける位置から操作してください。

2. 手動調整ねじ
　初期調整または電気的な故障などで、ソレノイドに入力電流がない場合に、手動調整ねじを回すことにより弁の圧力を設定することができます。通常の場合は、必ず手動調整ねじを完全に戻しておいてください。

3. タンク配管
　背圧が 0.2 MPa 以下になるようにし、直接油タンクに接続してください。その際、管の末端は必ず油中に入れてください。

注）負荷容量は２０ℓ i t が最適となっております。
　　最少でも 1.4ℓ i t は確保して下さい。

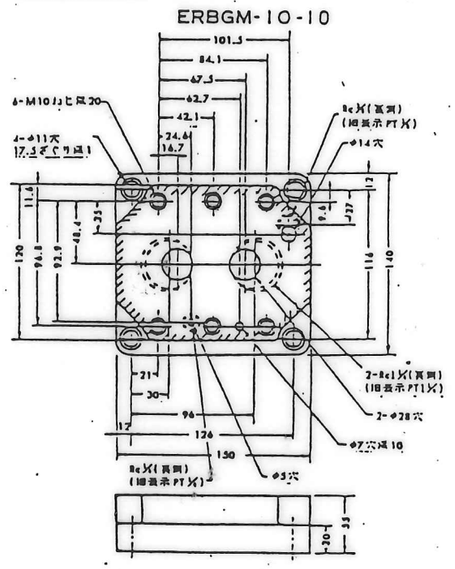
■　使用油

石油系作動油（ JIS K2213 の 2種；添加タービン油の ISO VG32 ～56相当油）を油温 -10 ～＋80℃、粘度 15 ～400 mm²/s の両条件を満足する範囲で、ご使用下さい。

なお、使用油は常に汚染度 NAS11級より清浄な状態を保つと共に、弁入口には 20 μ以下の管路用フィルターを設けてご使用下さい。

(F-付の場合は、リン酸エステル系作動油がご使用になれます。)

■サブプレート




●サブプレートをご使用の場合は上記モデル番号にてご注文ください。
なお、サブプレートをご使用にならない場合は弁取付面を6-S程度に仕上げてください。

| | | | |
|---|---|---|---|
| SYM △×1 | REVISIONS V99-142 | DATE 10/18 | SIGN m.n. |
| 日付 DATE 97-7-23 | 製図 DRAWN 大谷 | 承認 APPROVED 野瀬 | 検図 CHECKD 河原 |
| 三角法 THIRD ANGLE PROJECTION | FILE NO. 596 | | |

**YUKEN KOGYO CO., LTD.**

形式 MODEL NO. (F-)ＥＲＢＧ－１０－※－５l

名称 NAME １１/４ 比例電磁式リリーフ付減圧弁

図番 DWG NO. VA 3 l 17576-7-1